

議案第 4 2 号 付属資料

令和 8 年度

高野町一般会計補正予算（補正第 2 号）の概要

高 野 町

９月補正予算（一般会計補正第２号）のポイント

今回の補正予算は、確定した財源についてすみやかに予算計上する方針のもと編成したものです。

歳入では、当初予算に対して上振れした町税２５，７７２千円、普通交付税２０３，２６９千円、純繰越金１４２，３５９千円をそれぞれ増額計上しました。

一方で、これらの財源を活用し、当初予算において政策的経費等の財源として一時的に取り崩すこととしていた財政調整基金繰入金２７０，０００千円を減額し、基金への積戻しを行うとともに、公共施設等整備基金繰入金２９，０００千円についても減額しました。

歳出では、５月に被災した町道高野幹線の本格復旧費用として１７，６２５千円、６月に発生した町道宮村線法面の崩土除去費用として１，５６０千円を計上しました。

また、今後予定されている役場本庁舎をはじめとした公共施設の更新整備等に備えるため、公共施設等整備基金に９６，６００千円を積み立てるとともに、後年度の公債費償還財源を確保するため、減債基金に２５，２１４千円を積み立てました。

以上のほか、既定経費の精査及び所要の財源調整を行った結果、今回の補正予算は、歳入歳出それぞれ１００，０００千円を追加し、補正後の予算総額は４，６０９，２００千円（前年同期＋４．４％）となりました。

★歳入の状況

歳入では、町税について、当初予算に対する上振れ分２５，７７２千円を追加計上するとともに、本年度の算定終了により普通交付税２０３，２６９千円を追加計上しました。

国庫支出金では、障害者自立支援給付費の増加に伴う国庫負担金２，８２０千円、５月災害に係る査定額の確定に伴う災害復旧事業国庫負担金１１，４９４千円を追加計上したほか、児童福祉費国庫補助金から衛生費国庫補助金への予算組替えを行いました。

県支出金では、産後ケア事業の所管変更に伴う補助金の移管調整を行うとともに、小中学校給食費無償化に伴う補助金５，５３０千円を計上しました。また、前年度繰越金の確定により純繰越金１４２，３５９千円を追加計上し、諸収入では、前年度実績の確定に伴う障害関連補助金の追加交付などにより４，６０５千円を追加計上しました。一方、当初予算で一時的に取り崩すこととしていた財政調整基金繰入金２７０，０００千円及び公共施設等整備基金繰入金２９，０００千円を減額し、それぞれ基金への積戻しを行いました。

町債では、起債一次協議の結果を踏まえ、過疎対策事業債９，６００千円を減額し、公共土木施設災害復旧事業債５，７００千円を追加計上しました。

■町税

町税では、課税実績及び収入見込みを踏まえ、当初予算からの上振れ分 2 5, 7 7 2 千円を追加計上しました。

■地方交付税

地方交付税では、本年度の普通交付税の算定が終了し、交付額が当初予算を上回る見込みとなったことから、2 0 3, 2 6 9 千円を追加計上しました。

■国・県支出金

国県支出金では、国庫支出金として、障害者自立支援給付費の増加に伴う国庫負担金 2, 8 2 0 千円、5 月災害に係る査定決定額の確定に伴う災害復旧事業国庫負担金 1 1, 4 9 4 千円、国民年金制度における「育児期間免除」の創設に伴うシステム改修に係る国庫委託金 9 0 2 千円、国の補正予算に伴い追加交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 3, 7 6 4 千円を追加計上しました。

また、事業内容に応じて、児童福祉費国庫補助金から衛生費国庫補助金への予算組替えを行いました。

県支出金では、産後ケア事業の所管変更に伴い、子ども・子育て支援補助金へ移管する調整を行うとともに、小中学校給食費無償化に伴う補助金 5, 5 3 0 千円を計上しました。

■繰入金

前年度繰越金については、前年度決算の確定により、形式収支 2 6 8, 2 1 6 千円、翌年度繰越財源 2 7, 8 5 7 千円、実質収支 2 4 0, 3 5 9 千円となりました。

この実質収支のうち、当初予算計上額 2 0, 0 0 0 千円及び 6 月補正予算計上額 7 8, 0 0 0 千円を除いた残額 1 4 2, 3 5 9 千円を、今回補正予算で追加計上しました。

■諸収入

諸収入では、歳入見込みの精査により、預金利率の上昇に伴う預金利子 1, 1 8 7 千円を追加計上するとともに、消防団員の希望退団に伴う退団報償金 7 0 2 千円を追加計上しました。

また、県道川津高野線の拡幅工事に伴い、防災行政無線筒香屋外子局の移設工事補償費 4 7 3 千円を追加計上したほか、消防団員安全装備整備事業助成金の交付決定に伴い 6 9 7 千円を追加計上しました。このほか、その他事業の進捗に応じた所要の補正を行いました。

■町債

町債では、起債第1次協議結果を踏まえ、過疎対策事業債の高規格救急自動車更新事業債9,100千円及び橋梁長寿命化修繕事業債500千円を減額しました。

また、5月災害に係る査定決定額の確定に伴い、現年発生道路補助災害復旧事業債5,700千円を追加計上しました。

★歳出の状況

歳出については、人事異動及び会計年度任用職員の任用状況等を踏まえた人件費の補正を行うとともに、各事業の執行状況や今後の見込みに基づき、所要額を計上しました。

主なものとして、総務費では、減債基金積立金 2 5, 2 1 4 千円、公共施設等整備基金積立金 9 6, 5 0 0 千円、国際交流事業 6 0 0 千円、防災行政無線関係経費 9 6 8 千円、庁内 P C の情報セキュリティ対策経費 2 6 4 千円などを計上する一方、町長選挙が無投票となったことに伴い、町長選挙費 5, 2 5 8 千円を減額しました。

民生費では、更生医療給付費 5, 6 4 0 千円、国民年金システム改修費 9 0 2 千円、富貴高齢者福祉センター修繕費 6 5 4 千円、子ども・子育て支援交付金等精算金 1, 9 2 3 千円などを計上し、地域福祉計画及び障害福祉計画等策定事業については、入札差金により 3, 9 9 2 千円を減額しました。

衛生費では、各種健診及び母子保健事業の精算金を計上するとともに、出産・すくすく子育て応援給付金 4 0 0 千円を追加計上しました。また、診療所運営に係る繰出金の調整により、国民健康保険富貴診療所運営事業繰出金 6, 2 4 6 千円を減額しました。

このほか、農林業費ではツキノワグマ被害防止緊急対策経費 3 0 0 千円など、商工費では観光協会運営事業補助金 6, 8 0 0 千円など、土木費では桜団地 2 号棟ガス管改修工事 1, 2 9 4 千円、消防費では消防団員退職報奨金 7 0 2 千円など、教育費では通学用定期購入補助金 4 6 6 千円などを計上しました。

災害復旧費では、町道高野幹線の道路災害復旧工事 1 7, 2 3 1 千円及び付帯工事 3 9 4 千円を計上しました。

予備費については、歳入歳出全体の調整を行いました。

■共通事項

<人件費>

人件費では、定期人事異動による職員配置及び職員構成の変更に加え、会計年度任用職員の任用状況等を踏まえ、給料、職員手当、共済費、報酬等について所要の補正を行いました。

■総務費

<総務費>

(基金管理事業)

基金積立金では、普通交付税の算定項目として本年度限りで創設された臨時財政対策債償還基金費 25,214 千円について、後年度における臨時財政対策債の償還財源を確保するため、同額を減債基金へ積み立てました。

あわせて、決算余剰金の一部を活用し、今後予定されている役場本庁舎の大規模改修等に備えるため、公共施設等整備基金へ 96,500 千円を積み立てました。

この結果、令和 8 年度末の基金残高見込みは、減債基金 143,475 千円、公共施設等整備基金 698,915 千円となります。

<財産管理費>

(旧教育施設管理事業)

旧花坂小学校体育館に設置している AED については、現行契約の期間満了に伴い、継続して設置するため新たに契約更新を行う必要があることから、AED リース料 15 千円を計上しました。

<企画費>

(国際交流事業)

平成 21 年に締結した「日伊世界遺産都市の文化・観光相互促進協定」に基づき、本町とイタリア・アッシジ市との聖地間交流をさらに推進するため、10 月 22 日に駐日イタリア共和国大使館において開催する交流レセプションに係る経費 600 千円を計上しました。

本年は交流 40 周年の節目を迎えることから、両市町の交流促進と絆の深化を図るとともに、昨年のお阪・関西万博イタリアパビリオンにおける協議を経て、ウンブリア州知事より 2026 年のアッシジ市招聘について正式な表明をいただいたことを踏まえ、今後のアッシジ市への表敬訪問につなげるものです。

また、同レセプションにおいて、本町の歴史・文化的価値を海外へ効果的に発信するため、高野山に伝わる伝統文化である「声明」を披露することとし、日伊交流レセプション伝統文化演出業務委託料 200 千円を計上しました。

今回の取組を通じて、世界遺産を有する宗教都市としての相互連携をより強固なものとし、次世代に向けた継続的な国際交流の基盤構築を図ります。

<防災諸費>

(防災行政無線運営管理事業)

防災行政無線管理運営事業では、移動系防災行政無線について、総務省令で定められた期間内に登録点検を実施する必要がありますが、当初予算に計上漏れがあったため、移動系防災行政無線登録点検業務委託料495千円を追加計上しました。

あわせて、県道川津高野線の道路拡幅工事に伴い、道路用地内に所在する防災行政無線筒香屋外子局を移設する必要性が生じたことから、移設工事費473千円を追加計上しました。なお、移設工事費については県が負担する予定です。

<情報推進費>

(インターネット管理運営事業)

インターネット管理運営事業では、庁内で使用しているPCについて、情報セキュリティ対策の確保を図るため、10台分のウイルス対策ソフトを導入することとし、ライセンス使用料264千円を計上しました。

<税務総務費>

(税務管理事業)

固定資産評価審査会委員報酬については、令和7年度分の未払い分を今年度予算で支払ったことに伴い、令和8年度分に不足が生じるため、不足分30千円を追加計上しました。

<町長選挙費>

(町長選挙事業)

高野町長選挙費については、4月7日告示、4月12日投開票予定の高野町長選挙が無投票となったことに伴い、投開票事務等が不要となったため、未執行額及び執行額の確定により、総額5,258千円を減額しました。

<指定統計調査費>

(指定統計調査事業)

指定統計調査事業では、本年度実施する各種統計調査事業について、県からの交付額が決定したことに伴い、事業費及び財源について所要の調整を行いました。

■民生費

<社会福祉費>

(国民健康保険事業繰出金)

国民健康保険繰出金については、国民健康保険特別会計における職員人件費について、定期異動に伴う職員構成の変更により人件費を調整した結果、一般会計から国民健康保険特別会計への繰出基準額に変更が生じたため、繰出金475千円を追加計上しました。

(地域福祉計画策定事業)

地域福祉計画策定事業では、障害者基本計画等策定業務と一体的に入札を実施した結果、契約額が当初の見込みを下回ったことから、入札差金として2,019千円を減額しました。

<障害福祉費>

(障害者児地域生活支援事業)

障害者児地域生活支援事業では、令和7年度における給付実績の確定に伴い、地域生活支援事業等県補助金について精算が生じたことから、精算金7千円を計上しました。

(障害者児自立支援（障害福祉サービス）給付事業)

障害者児自立支援（障害福祉サービス）給付事業では、令和7年度における障害福祉サービス給付実績の確定に伴い、国及び県負担金について精算が生じたことから、国負担金精算金352千円、県負担金精算金176千円を計上しました。

(障害者児自立支援（医療費）給付事業)

更生医療給付費の増加が見込まれることから、年度末までに必要となる所要額5,640千円を追加計上しました。

(障害者基本計画・障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業)

障害者基本計画・障害福祉計画・障害児福祉計画策定事業では、地域福祉計画策定業務と一体的に入札を実施した結果、契約額が当初の見込みを下回ったことから、入札差金として1,973千円を減額しました。

<高齢者福祉費>

(後期高齢者医療事業繰出金)

和歌山県後期高齢者医療広域連合における本年度の療養給付費負担金額が確定したことにより、当初予算額に不足が生じるため、所要額909千円を追加計上しました。

<国民年金事務取扱費>

(国民年金事務事業)

国民年金事務事業については、令和8年10月から開始予定の「育児期間免除」制度に対応するため、国民年金システムの改修が必要となることから、所要額902千円を計上しました。

同制度は、国民年金第1号被保険者について、1歳未満の子を養育する期間の保険料を免除するものです。

<富貴高齢者福祉センター費>

(富貴高齢者福祉センター施設管理事業)

富貴高齢者福祉センター施設管理事業については、定期点検において排水処理用調整槽のポンプ2台のうち1台に故障が判明しました。施設の適正な維持管理を図るため、当該ポンプの修繕に要する経費として654千円を計上しました。

<児童福祉総務費>

(母子生活支援事業)

母子生活支援事業については、母子生活支援施設の利用日数が当初見込みを上回り、年度末までに委託料の不足が見込まれるため、子育て支援短期利用事業委託料50千円を追加計上しました。

(病児保育事業)

病児保育事業については、これまで橋本・伊都地域に病児保育施設がなかったことから、同地域における病児保育体制を整備するため、紀和病院に病児保育施設を開設し、広域で運用する予定です。このため、施設改修等に係る経費として、橋本・伊都地域病児保育施設開設負担金26千円を計上しました。

なお、運用開始は 令和9年4月を予定しています。

(補助金等返還金管理事業)

補助金等返還金管理事業については、令和7年度に実施した子ども・子育て支援交付金活用事業の事業費が確定したことに伴い、国・県への返還が必要となることから、精算返還金として総額1,923千円を計上しました。

<母子福祉費>

(ひとり親家庭医療費支給事業)

ひとり親家庭医療費支給事業については、令和7年度における医療費給付実績の確定に伴い、所要額を精算する必要があるため、精算金60千円を計上しました。

■衛生費

<保健衛生総務費>

(保健衛生総務運営事業)

救急医療システム分担金については、関係市町等で負担する今年度の分担金額が確定したことにより、当初予算額に不足が生じるため、所要額2千円を計上しました。

<予防費>

(大人の健康診査事業)

令和7年度の事業実績が確定したことにより、精算金151千円を計上しました。

(がん検診事業)

令和7年度の事業実績が確定したことにより、精算金11千円を計上しました。

<母子保健費>

(未熟児養育医療費支給事業)

令和7年度の事業実績が確定したことにより、精算金159千円を計上しました。

(出産・すくすく子育て応援事業)

出産・すくすく子育て応援事業については、令和7年度の事業実績が確定したことにより、精算金257千円を計上しました。

また、今年度の出生数が当初見込みを上回ることが見込まれることから、給付対象者の増加に対応するため、出産・すくすく子育て応援給付金400千円を追加計上しました。

<診療所費>

(高野山総合診療所運営事業繰出金)

高野山総合診療所運営事業繰出金については、過疎高齢化に伴う受診者数の減少等による診療収入の減少に加え、物価高騰による医薬材料費、光熱水費等の運営コスト増加により、診療所運営に係る収支不足が生じることから、赤字補てん分として計上しました。

なお、当初予算算定時には前年度繰出金を40,000千円と見込んでいましたが、実績額は27,022千円となっています。

(国民健康保険富貴診療所運営事業繰出金)

国民健康保険富貴診療所運営事業繰出金については、前年度繰越金の確定に伴う財源調整及び常勤医師不在による診療体制の変更に伴い、診療所運営に係る歳出の減少が見込まれることから、繰出金6,246千円を減額しました。

■農林業費

<農業総務費>

(農業経営基盤強化促進事業)

農業経営基盤強化促進事業については、新規就農者の青年等就農計画を審査するため、農業委員会委員3名、農業協同組合職員1名、県職員1名で構成する農業経営改善計画等認定委員会を開催するものです。

これに伴い、農業経営改善計画等認定委員会委員報酬32千円を計上しました。

<鳥獣対策費>

(ツキノワグマ被害防止緊急対策事業)

近年、ツキノワグマの目撃情報が頻繁に寄せられていることから、住民の安全確保及び被害防止を図るため、緊急時の対応体制強化に必要な装備品を整備する消耗品費300千円を計上しました。

なお、財源として指定管理鳥獣対策交付金227千円を充当します。

■商工費

<観光費>

(観光協会支援事業)

観光協会支援事業については、高野町観光協会から運営に係る運転資金不足に対する支援要望書の提出があったことを踏まえ、本町の観光振興を担う同協会の安定的な運営を支援するとともに、今後の観光事業展開による地域経済の活性化を期待し、高野町観光協会運営事業補助金6,800千円を計上しました。

(観光プロモーション・PR事業)

インバウンド及び国内観光客の誘客促進を目的として、京都の主要ホテルからコンシェルジュを招聘する実地研修について、前回6月補正では旅費を片道分のみ計上していたため、本来必要となる往復分との差額として費用弁償46千円を追加計上しました。

また、新たに観光アドバイザー及び案内人に係る食糧費6千円を追加計上しました。

(団体旅行誘致推進事業)

団体旅行誘致推進事業については、昨年度末から団体旅行に関する問い合わせが増加し、8月末時点で当初予算額に達していることから、年度末までの事業実施に不足が生じる見込みです。

引き続き団体旅行の誘致及び受入促進を図り、観光振興と地域経済の活性化につなげるため、高野町団体旅行誘致推進事業委託料500千円を追加計上しました。

■土木費

<道路橋梁維持費>

(町道等維持修繕事業)

6月に発生した町道宮村線の崩土除去にかかる工事費1,560千円を計上しました。

<住宅管理費>

(公営住宅改修事業)

公営住宅改修事業については、桜団地2号棟において、地中埋設のガス管から微量のガス漏れが検知されました。現在は週1回、ガスメーターによる監視を行い、安全確認を継続していますが、今後ガス漏れが拡大した場合、入居者の安全に影響を及ぼすおそれがあります。

このため、ガス漏れが大きくなる前に必要な改修を行い、入居者の安全確保及び事故の未然防止を図るため、桜団地2号棟ガス管改修工事1,294千円を計上しました。

■消防費

<常備消防費>

(消防職員教育事業)

消防職員教育事業については、救急救命士活動において検証対象となる救急症例を医学的観点から検証し、救急業務の質の向上を図るものです。当初予算では年間12回程度の検証を見込んでいましたが、今年度は7月末時点で検証対象となる救急症例が11件となっており、年度末までに不足が見込まれることから、救命士関係委託料20千円を追加計上しました。

<非常消防費>

(消防団運営事業)

消防団運営事業については、消防団員の希望退団に伴い、退団者に対して退職報奨金を支給するため、退団報償金702千円を計上しました。

■教育費

<事務局費>

(教育委員会事務局運営事業)

教育委員会事務局運営事業については、令和9年度に近畿ブロック町村教育長会及び和歌山県町村教育長会の事務局を担当することから、事務局運営に係る準備及び情報収集を行うため、今年度開催地である滋賀県彦根市へ職員3名を派遣する普通旅費44千円を計上しました。

(公用車管理事業)

公用車管理事業については、教育委員会所管の公用車の車検に伴う車検代行手数料及び印紙代の改定により、当初予算に不足が生じる見込みのため、車検代行手数料6千円を計上しました。

<教育諸費>

(学校教育推進事業)

学校教育推進事業については、自治体国際化協会から外国青年招致事業に係る会費改定の通知があり、当初予算に不足が生じる見込みのため、国際協力負担金13千円を追加計上しました。

(通学支援事業)

通学支援事業については、町内で転居した児童生徒2名及び南海りんかんバス五の室線の運行開始に伴う新規申込者3名、変更申込者10名に対し、通学用定期券購入を支援するため、通学用定期購入補助金466千円を追加計上しました。

<学びの杜施設管理事業費>

(学びの杜施設管理事業)

学びの杜施設管理事業については、児童生徒用玄関扉のクローザーが台風6号による突風で破損したため、安全な施設利用環境を確保するため修繕料99千円を計上しました。

なお、財源の一部として建物共済金49千円を充当しました。

<小学校管理費>

(富貴小学校施設管理事業)

富貴小学校施設管理事業については、富貴中学校の再開に伴い使用している小学校施設の教室について、破損している網戸サッシを修繕するため、修繕料 1 2 1 千円を追加計上しました。

<中学校管理費>

(富貴中学校運営事業)

富貴中学校運営事業については、中学校の再開に伴い、経年劣化により使用できない理科教材一式を更新し、理科授業に必要な教材を整備するとともに、クラブ活動の開始に伴う活動経費を支援するため、教材備品購入費 7 8 千円及びクラブ及びチーム活動補助金 2 0 千円を追加計上しました。

■災害復旧費

<現年発生公共土木施設災害復旧事業>

現年発生公共土木施設災害復旧事業については、5月3日から4日の豪雨により被災した町道高野幹線の道路災害復旧工事について、災害査定により事業費が確定したことから、道路災害復旧工事 1 7, 2 3 1 千円を計上しました。

財源として、国庫負担金 1 1, 4 9 4 千円及び道路災害復旧事業債 5, 7 0 0 千円 を充当しています。

また、同路線において災害復旧事業に採択されない崩土撤去費として、町道高野幹線道路災害復旧付帯工事 3 9 4 千円を計上しました。

■予備費

<予備費>

予備費については、歳入歳出全体の調整によるものです。

■令和８年度会計別予算推移

(単位：千円)

会 計 名 称				当初	1号補正 (6月定例会)	2号補正 (9月定例会)								合 計	
一 般 会 計				4, 144, 000	365, 200	100, 000								4, 609, 200	
特 別 会 計	国民健康保険事業			452, 600	△ 9, 600	15, 300								458, 300	
	介護保険事業			555, 000		36, 000								591, 000	
	後期高齢者医療事業			139, 500		3, 200								142, 700	
	高野山総合診療所事業			306, 000	1, 200	△ 6, 600								300, 600	
	富貴診療所事業			68, 000	△ 17, 000	0								51, 000	
	富貴財産区			5, 000		590								5, 590	
	(小 計)			1, 526, 100	△ 25, 400	48, 490	0	0	0	0	0	0	0	1, 549, 190	
	一般・特別会計 合計			5, 670, 100	339, 800	148, 490	0	0	0	0	0	0	0	6, 158, 390	
企 業 会 計	簡 易 水 道 事 業	収益的	収 入	158, 000	0	0								158, 000	
			支 出	158, 000	0	0								158, 000	
		資本的	収 入	50, 260	9, 400	△ 2, 300									57, 360
			支 出	78, 899	11, 140	0									90, 039
	富 貴 簡 易 水 道 事 業	収益的	収 入	24, 000	0	0								24, 000	
			支 出	24, 000	0	0								24, 000	
		資本的	収 入	7, 800	0	0									7, 800
			支 出	13, 595	1, 364	0									14, 959
	下 水 道 事 業	収益的	収 入	315, 500	0	0									315, 500
			支 出	315, 500	0	0									315, 500
		資本的	収 入	197, 550	△ 143, 780	0									53, 770
			支 出	297, 596	△ 143, 736	0									153, 860
	(小計)			887, 590	△ 131, 232	0	0	0	0	0	0	0	0	756, 358	
高 野 町 予 算 規 模				6, 557, 690	208, 568	148, 490	0	0	0	0	0	0	0	6, 914, 748	

※企業会計の小計については、収益的支出及び資本的支出を合算した数値

※補正号数は、一般会計ベースでの記載

※予算総額に増減のない補正予算は「0」で表示

